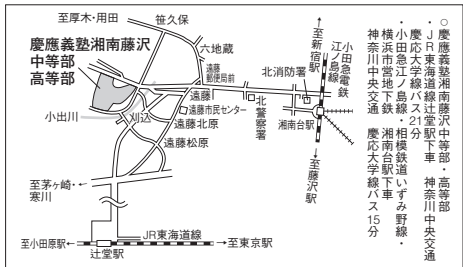


慶應義塾湘南藤沢中等部 高等部

〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤5466 ☎0466-49-3585・3586 中等部・高等部部长 尾上 義和



〈URL〉 <https://www.sfc-js.keio.ac.jp/>

沿革 安政5年(1858)、福澤諭吉が東京築地に蘭学塾を開いたのが始まりです。慶応4年(1868)に慶應義塾とし、明治4年(1871)、東京三田へ移って以後、幼稚舎、大学部設置に続き、同31年(1898)普通科を設けて中等教育を開始。平成2年(1990)、藤沢に大学2学部を新設し、同4年(1992)、同地に湘南藤沢中等部・高等部を開校。

校風・教育方針

生徒一人ひとりを大切に、基本を重視し、基礎を確実に身につける、きめ細かな指導を行います。国際的な場で活躍するために不可欠なものとして、語学と情報リテラシーを身につける教育に力を注ぎ、変革の時代に対応して、個性を伸ばす新しい教育をめざしています。

高等部の卒業者は、原則として全員が慶應義塾大学のいずれかの学部に進学入学を許可されますので、自分自身の志望に応じて、好きな学業に打ち込み、クラブ活動やボランティア活動などを行うことができます。情操豊かで、創造力に富み、思いやりが深く、広い視野に立って物事を判断し、社会に貢献するために積極的に行動する人、「社会的責任を自覚し、知性、感性、体力にバランスのとれた教養人の育成」が目標です。

カリキュラムの特色

中高一貫教育のカリキュラムを編成し、中等部を1・2・3年生、高等部を4・5・6年生と呼んでいます。

生徒個人に見合ったきめの細かい教育を実践し

今年の進学実績については巻末の「高校別大学合格者数一覧」をご覧ください



ているのも特色です。なかでも時代の要求する異文化間の交流に対応するための基礎的学習として、日本文化を日本語で正しく表現すると同時に英語を媒介とした異文化との意思疎通を可能とするコミュニケーションの育成、さらにコンピュータを授業に取り入れ、自然にコンピュータを利用した情報処理能力を身につけさせることにも力を注いでいます。

学部進学、進路選択にはおいては、授業をはじめ「福澤先生記念講演会」等の特別なカリキュラムを設けています。社会で活躍する卒業生の話や、大学生との懇談会として、一歩先に大学へ進学した先輩たちから大学生活について知る機会を設けるなど、縦のつながりを生かし、将来を検討することができるようにしています。

国際交流プログラム

〈慶應義塾一貫教育校派遣留学制度〉

慶應義塾内の高等学校より選ばれた者は、イギリス・アメリカの各提携校へ約1年間派遣留学することができます。

〈交換留学〉

湘南藤沢中高等部独自の留学プログラムとしても、イギリス・アメリカ・シンガポール・ニュージーランド・オーストラリア・韓国・カナダの各提携校との間で、1～3週間の交換留学を毎年(一部のプログラムは隔年)行っています。

3学期制 登校時刻 8:40 昼食 弁当持参、売店 土曜日 授業

環境・施設設備

大学の総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部と同じ敷地内に設置されており、大学からの知的刺激を受けることができます。

広大なキャンパスは半分以上が緑化され、都心を離れた静けさの中で、情報機器の充実した図書館他、学習の場にふさわしい環境がつけられています。

生活指導・心の教育

ユニークで多種多様な授業やクラブ活動を通し

データファイル

2024年度入試日程 (予定)

中等部	Webによる登録が必要				
募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日	
一般 約70	1/6~1/13	1次2/2	1次2/3	2/6	}
帰国生約30	12/1~12/14	2次2/4	2次2/5		

※2次試験は1次試験合格者のみ受験

高等部 Webによる登録が必要

募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日
全国枠若干	1/19~1/24	2/12	2/13	2/14
帰国生約20	12/7~1/9			

2024年度選考方法・入試科目 (予定)

中等部 一般・帰国生 1次: 国語・算数・理科・社会または国語・算数・英語*のいずれかを選択

2次: 体育実技、面接

*英語は英検2級〜準1級程度の筆記試験(リスニングを含む)

〈配点・時間〉 国・算 = 各100点45分 理・社 = 各50点25分 英 = 100点60分

〈面接〉 保護者同伴

高等部

※全国枠(神奈川、東京、千葉、埼玉を除く国内・国外の地域に中学校全期間と小学校6年生の全期間〈4年間〉以上在住、かつ在学した者)と帰国生のみ募集

全国枠: [1次選考] 書類審査 [2次選考] 面接 【出願条件】 内申 9科41かつ英5、国・数4以上 学校内外での充実した諸活動を行い、出願書類によって示すことができる者

帰国生: 書類審査、国語(小論文・45分)、数学(45分)、面接

〈面接〉 受験生のみ

説明会・行事等は日程・内容が変更される場合があります。必ず学校HP等でご確認ください

て、情操豊かで、広い視野に立って物事を判断でき、最終的には社会に貢献するために積極的に行動できる人になって欲しいというのがねらいです。

学校行事・クラブ活動

学校行事は、球技大会、早慶戦観戦、修学旅行、高原学校、文化祭などが行われています。

クラブ活動は体育系クラブが空手、弓術、競走、剣道、硬式テニス、柔道、水泳、バスケット、バレエ、フェンシング、サッカー、ソフトボール(女)、体操(女)、野球(硬・軟)、スキー、ダンス、文化系は吹奏楽、コンピュータ、室内楽、棋道などがあります。

2023年春併設大学への進学

原則としてほぼ全員が推薦されます。

卒業者数 232人

慶應義塾大学-231(文5、経済60、法64、商16、医7、理工37、総合政策15、環境情報21、看護医療0、薬6)

2023年度入試結果

中等部					
募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率	
一般 約70	454	405	86	4.7	}
帰国生 約30	134	106	40	2.7	

繰上合格は一般2人、帰国生4人。内部進学者を含まない

高等部

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
全国枠 若干	27	27	6	4.5
帰国生 約20	139	124	47	2.6

繰上合格は全国枠0人、帰国生14人

学校説明会

中等部

9/9 10/14

高等部

7月に実施

中等部、高等部とも動画配信のみのオンライン説明会も開催予定。

※開催内容や参加申し込み方法の詳細は学校ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.sfc-js.keio.ac.jp/>